

第七十回帝國議會  
衆議院

# 絲價安定施設法案外一件委員會會議錄(速)第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)  
漁船再保險特別會計法案(政府提出)  
森林火災國營保險法案(政府提出)  
森林火災國營保險特別會計法案(政府提出)

## 會議

昭和十二年三月十八日(木曜日)午後二時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事小山邦太郎君 理事飯田 助夫君

理事横川 重次君

野田文一郎君

多田 滿長君

松尾 四郎君

小林 鑄君

東條 貞君

今給黎誠吾君

平野 力三君

出席政府委員左ノ如シ

農林省山林局長 村上龍太郎君

農林省水産局長 原 辰二君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林屬 高橋 敏男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

漁船再保險特別會計法案(政府提出)

漁船再保險特別會計法案(政府提出)

森林火災國營保險法案(政府提出)

森林火災保險特別會計法案(政府提出)

○紫安委員長 開會致シマス——山崎君

○山崎委員 各委員カラ可ナリ微ニ入り細ニ互ツタル質問ガ展開サレテ居ルヤウデア

リマスルカラ、私極ク簡單ニ箇條書ニ當局

ノ御見解ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、漁業保

險ニ關スル點デ御致シマス、此漁業保險

ハ相互扶助ノ共同ノ基礎ニ立ッテ

居ラレルノデアリマスルカ、ソレトモ是ハ

救済保險トシテ、政府ガ何處マデモ損失ヲ

見テ行ッテモ宜イト云フ損失見込ミノ救済

保險ノ基礎ニ立ッテ居ルノデアリマスルカ、其

點ヲ先ニ御伺シタイノデアリマス

○原政府委員 此保險自體ノ構成ハ、何處

マデモ相互保險ノ趣旨デアルノデアリマ

ス、ト同時ニ御話ノゴザイマシタ救済ト申

シマス點ニ付キマシテハ、政府ガ幾ラ損ヲ

シテモヤルト云フ立前ハ出來ルダケ避ケマ

シテ、保險ハ保險トシテ、ソレ自體ニ於テ

出來ルダケハ「バランス」ヲ取ッテヤッテ行キ

タイト云フ風ナコトニ、仕組ヲ考ヘテ居ル

ノデアリマス

○山崎委員 家畜保險ニ大分例ヲ取ッテ居

ラレルヤウデアリマスガ、農林省ノ家畜保

險ノ再保險ニ依ル成績ハ、私ハ開始サレテ

カラ凡ソ十萬圓位ナ引込ミニナッテ居ルノ

デヤナイカト云フ風ニ伺ッテ居ルノデアリ

マスガ、此點ハドウ云フ風ニアナタノ方デ

ハ受取ッテ居ラレルノデアリマスルカ、若シ

ソレガ一ツノ例ト云フコトニナッテ參リマ

スト、當然是モ相當期間ハ損失ヲセナケ

レバナラヌデヤナイカ、斯様ニ私ハ考ヘ

テ居リマス、其點ノ見解ハ如何デアリマ

スカ

○原政府委員 家畜保險ハ其係ノ人ガ來テ

居リマスルカ、説明員トシテ説明ヲサセテ

戴キタイト思ヒマス

○高橋農林屬 只今ノ御質問ニ對シマシテ

家畜保險ノ掛トシテ御答申上ゲマス、只今

ノ御質問デ約十萬圓位ノ損失ト云フヤウナ

御話ガゴザイマシタガ、家畜再保險ニ於キマ

シテハ、從來昭和八九年頃マデノ成績ニ於

キマシテハ、御話ノヤウニ缺損ガゴザイマ

シタガ、其後ニ指導方面、ソレカラ其他ノ

方面ニ於テ最善ノ方法ヲ講ジマシタ結果、

業績ハ挽回シテ參リマシタ、現在ニ於キマ

シテハ收支ガ大體持テル状態ニナリマシ

タ、ソレデ過去ノ損失ニ對シマシテハ、今

後ノ成績ノ改善ニ依リマシテ、漸次補填シ

テ行ク目安モ大體付イテ居ルヤウナ次第デ

ゴザイマス

○山崎委員 相當期間損失ヲ續ケラレタト

云フコトハ、只今ノ御説明ニ依ッテ諒承致シ

マシタ、此漁船保險モ或ハ相當期間ノ損失

ヲ續ケラレルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウ

ニ考ヘラレルノデアリマス、殊ニ其點ニ付

キマシテノ當局ノ保險率ノ採算點ガ、私ハ

寧ロ救済保險ナラ救済保險ニ徹底シテヤレ

バ、モット利率ヲ安クシテ損失ヲ見越シテ

ヤッテ宜イシ、慈ヒ共同組織ニ依ル保險制度

ニシヨウト思フト、ソコニ率モ下ゲナケレ

バナラナイシ、採算モ採ラナケレバナラヌ

ト云フ、苦シイニ二兎ヲ追フ結果ニナリハセ

ヌカト云フコトヲ慎レテ居リマス、此點ニ

付キマシテハ、十分ニ此程度デ宜イト云フ

御見解ヲ持ッテ居ラレマスルカ、或ハ相當期間

採算ガ採レヌト云フコトヲ、豫メ豫算ニ入

レテ居リマスルカ、其點ヲ伺ヒマス

○原政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ先程申上

ガマシクヤウニ、此保險デハ成ベク特別ノ救済ト云フヤウナコトナシニ、保險自體ガ「バランス」ヲ取ツテ行ケルト云フヤウナ趣旨ヲ以テ考ヘテ居ルノデアリマスガ、御話ノ如ク最初カラ此「バランス」ヲ取ルヤウニ考ヘマスト云フト、相當保險料ト云フモノヲ高クシナイト云フト出來マセヌノデ、ソコデ先日モ御話申上ゲマシクヤウニ調和ヲ取ツテ、特別會計ノ方デハ十年目カラ獨立ガ出來テ、收支ノ「バランス」ガ取レルト云フ風ニ、言ヒ換ヘマスレバ最初九年間ハ一般會計カラ特別會計ノ方ヘ、是ハ十二年度ノ六万二千圓ト云フモノガ一番大キナ金額デアリマシテ、漸次遞減ヲスルノデアリマスガ、サウ云フ繰入金ヲ致シマシテ、間接ニ此保險料ノ實質的ナ補助ヲスルト云フ風ナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ十年目ニ獨立出來ルカドウカ、又獨立出來タト致シマシテモ、長續キヲスルカドウカ、サウ云フ見込ノ點モ先日來申上ゲタノデアリマスガ、其漁船ノ加入豫定數ト云フモノヲ大體取りマシテ、其最小限度ノ數ヲ實ハ見込ニ居ルノデアリマス、實際ノ運用ノ成績ハ此豫定ヨリモ遙ニ多クナルグラウ、又多クスルコトニ努力ヲシタイ、斯ウ

云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、經理ノ上カラ考ヘテ見マシテ、直グ行キ詰ルトカ、或ハ十年デ獨立スルノハ怪シクハナイカト云フ風ナ點ニ付テハ、寧ロ其十年ヲ待タナクテモ、或ハ獨立ガ出來ルカモ知レマセヌ、逆ニ申セバ十年目ニナレバ獨立出來得ルノミナラズ、現在考ヘテ居リマス保險料金デハ、多少デモ剩餘ガ出ルグラウ、サウスレバ保險料ノ引下ノ方ニ、ソレヲ向ケテ行クコトガ出來ルグラウ、斯様ニ見込ニ居リマス

○山崎委員

其點ニ付テノ私ノ見解モマダ多少御伺シタイノデアリマスガ、時間ガアリマセヌノデ極ク簡單ニ——保險料徴收ハ、是ハ市場ノ中心ニシテヤレルノデヤナイカト思ッテ居リマスルガ、最近近海カラ遠洋ヘ出ルモノガ非常ニ多クナッテ參リマシタ、其關係上市場ガ確定シナイ所ガ非常ニ多イノデヤナイカ、保險料徴收ノ場所ヲ水揚市場中心主義ト云フコトニナッテ來ルト、勢ヒ其點デ非常ニ支障ヲ生ジテ來ヤシナイカ、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、此點ハドウ云フ方法ヲ御考デアリマスルカ、今マデノ御説明程度ニ於キマシテハ、漁業組合ガ代ッテ納メテヤルトカ、分納サセルトカ云フ風ナ御話デアリマスルケレドモ、實際ノ間

題ニナルト、是ハ中々ムヅカシクナッテ來

ヤシナイカ、殊ニサウ云フ遠洋關係ナドヲ考慮致シテ、其點ヲ御伺致シマス

○原政府委員

此保險料ノ徴收ヲドウ云フ所ヲ中心ニシテヤルカト云フコトハ、實際問題トシテムヅカシイコトデアリマスガ、御話ノ如ク遠洋漁業ト申シマスカ、段々遠クヘ出掛ケテ漁ヲスル、ソレニ從ッテ水揚ノ場所ト云フモノガ、一定シナイト云フ傾向ハ免レヌコトト思ヒマス、同時ニ御案内ノ漁獲物ノ共同販賣ヲスル漁業組合ノ組織ト云フヤウナモノモ、段々ト發達ヲシ普及ヲ致シマシテ、其間ノ相互ノ連絡ト云フヤウナモノモ相當ニ出來テ居リマスシ、又將來サウ云フ風ニ助長モシテ、御話ノヤウニ各漁業組合ニ於ケル漁獲物ノ賣上金カラ積立ヲサシテ置イテ、保險料ノ拂込ニ充テルト云フ風ニサセルノモ、非常ニ便宜ナ方法カト思ッテ居リマス、サウ云フコトニ付テモ、成ベク徴收ノ便宜ノヤウニ指導ヲシテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山崎委員

御説明十分諒承致シマセヌガ、次ヲ御伺致シマス、是ハ曳船ニ依ル損害、或ハ船ノ破損難破其他ノ理由ニ依リマシテ、或ハ機械ノ故障ニ依リマシテ、曳船ヲ必要トスル場合ガ非常ニ出テ來ル、寧ロ

故障ニ依ル損害ヨリモ、曳船ニ依ル損害ノ方ガ非常ニ多額ナ例ガ、從來ハ多ク經驗サレテ居ル、斯様ナ點ニ付テハ此保險ガ之ヲ含ムノデアリマスルカ、ソレトモサウ云フコトハ除外サレテアルノカ、ソレヲ御伺致シタイ

○原政府委員

曳船ガ損害防止ノ爲ニ使レル場合デアリマシタラ、サウ云フ曳船ノ費用デアリマスルカ、其以外ノ費用デモ、損害ノ防止ニ關スル費用ト云フモノハ、是ハ補填ヲスル趣旨デゴザイマス

○山崎委員

損害防止ト云フコトハ、要スルニ機械ガ故障ヲシテ航行不能ニ陥リ、棄テテ置ケバ是ガ漂流乃至ハ其他ノ状態デ全ク船舶業務、或ハ人命ニ及ボスト云フヤウナ時ニ、多クハ曳船ヲ命ジテ最寄港乃至ハ在籍港ヘ曳航スルノデアリマス、斯ウ云フコトハ當然補填サルベキ中ニ入ル、斯様ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○原政府委員

其通り考ヘテ居リマス

○山崎委員

モウ一點御伺シタイノデアリマス、ソレハ漁夫ノ災害保險制度ト云フヤウナモノハ、今日ナイヤウデアリマス、是ハ工場、鑛山或ハ屋外労働者ニ於ケル労働者災害扶助法其他カラ比較致シテ見マスルト、其點デハ私非常ナ缺陷ガアルト思ヒマ

ス、現ニ本會議ニ於キマシテモ、同僚議員カラ其點ニ付テノ質疑ガ行ハレタヤウデアリマス、細カク其點ヲ御質疑申上ゲテ居ル暇ガアリマセヌノデ甚ダ残念デアリマス

ガ、是等ノ十日或ハ一箇月近ク、或ハ二箇月ニ互ル長イ期間ノ出漁デ、傷害ヲ受ケ、或ハ病氣ニ罹ル者、ソレ等ニ對スル對策ガ殆ド今日法規上見エヌノデアリマス、之ニ付テハ名前ハ漁業労働者災害或ハ健康保險制度ト言ッテモ結構デアリマス、名前ハドウデモ構ヒマセヌケレドモ、サウ云フ漁業労働者ニ對スル生命、傷害、健康ニ對スル保險制度ヲ御立案ニナツテ、實施サレルト云フコトニ付テノ御關心ハ、政府デ持ッテ居ラレマスカドウデアリマスカ、ソレヲ御伺シタイ

○原政府委員 其點ハ實ハ大變施設ガ遅レテ居リマシテ、私共ト致シマシテモ遺憾ニ存ズル點デアリマスガ、是ハ一日モ早く適當ナ對策ヲ講ズル必要ガアル、斯様ニ考ヘマシテ、正直ニ申シマスト云フト、マダ立案ニ著手シテ居ルト云フ所マデモ參ッテ居ラスノデアリマスガ、將來一段ト努力ヲシテ、御尋ノ趣旨ニ副ッテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山崎委員 漁船保險ニ對スル問題ハ私マ

ダ澤山伺ヒタイノデアリマスガ、ドウモ時間ガアリマセヌノデ此程度ニ致シテ置キマシテ、他ノ機會ニ發言シテ意見ヲ發表シタイト思ヒマス

次ニ山林保險ニ關スル問題デ一點當局ニ御伺致シタイ、此法規ハ山林火災其他ノ災害防除ニ對スル問題トシテ現レテ來タヤウデアリマスガ、一般國有林其他ニハ、氣象觀測ト連絡シテ嚴重ナル山林地帯ニ於ケル火氣ノ取締ニ任ジテ居ルコトヲ私聞イテ居ル、所ガ一般民有ノ林野地帯ニ於キマシテハ、是ガ甚ダ區々デアアル、統一性ノナイモノト思ハレテ居リマス、故ニ一縣ノ地帯ニ於キマシテモ、火災ノ非常ニ多イ地帯ト、ソレカラ殆ド無イニ近イヤウナ地帯ガアルヤウニ考ヘテ居リマス、此點ニ付キマシテハ將來保險ノ組織ガ、其必要ヲ認メル地方ト、マアサウ云フコトハ宜イダラウト云フトコト認メナイイデ宜イト云フ地方ガ分レテ來ル、ソレデ經理上ニ於テモ非常ナ誤算ヲ生ジテ來ルノデハナイカ、隨ヒマシテ私ハ山林火災ノ豫防ニ對シテ、政府ハ如何ナル民有ノ林野地帯ニ對スル對策ヲ御持ニナルカ、之ヲ國有林ニ於ケルガ如ク、空中濕度ノ觀測ナドニ付テ、嚴重ナ制度デ國營或ハ縣營アタリデ作ラセテ、サウシテ警察權ニ

依ッテ十分山林ノ空中濕度或ハ風速其他ノ關係ヲ考慮シテ、是ガ防備ノ對策ヲ立テル考ガアリマスカ、又現在十分デアルト云フ見解デアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒマス

○村上政府委員 國有林ニ於テ現在色々ナ施設ヲヤツテ居リマスガ、國有林ト民有林ト一緒ニゴザイマス地帯ニ於テハ、濕度ノ測定ニ付テモ、又危險信號ニ付キマシテモ、國有林ノ方ト警察消防ノ方ト能ク連絡ヲ取ッテヤルコトニナツテ居リマスカラ、是ハ國有林ト言ハズ、民有林ト言ハズ、其施設ガ及ブコトニナツテ居リマスガ、國有林ノナイ地帯ニ於テモ、今度サウ云フ施設ヲ進メテ行キタイト思ヒマス、唯豫算ト致シマシテハ今日甚ダ不備ナ點ガゴザイマスカラ、ソレヲ廣ク一般ニ及ボスヤウニ努力致シタイト思ッテ居リマス

○山崎委員 モウ一點最後ニ御伺シマスガ、山林労働者ニ對スル施設ガ甚ダ無イト思フノデアアル、是ハ朴夫カラ始マッテ色々ニ分レテ居ルケレドモ、同時ニ國有林關係等ニ於キマシテハ、可ナリ發達シタル消費組合制度、或ハ共濟制度モナキニシモアラズノヤウデアリマスガ、一般ノ民業ノ關係ト致シマシテハ非常ニ缺ケテ居リマス、殊ニ山林關係ノ労働者ニ對スル共濟施設ト云フ

モノハ殆ド皆無デアアル、甚シキニ至ッテハ木炭業ヲ始メトシテ、少數ノ金ヲ持ッテ居ル間屋業者ヤ、或ハ元締業者ニ隸屬シテ居ルト云フ洵ニ情ナイ山林労働者ノ現狀デアルヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ將來十分ニ留意シテ戴クコトハ、延イテハ山林業ノ發展ノ爲ニモ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、此點ニ付テノ當局ノ御抱負ヲ、此機會ニ簡單デ宜シウゴザイマスカラ御伺シタイノデアリマス

○村上政府委員 林業労働者ノ多クハ農業ト林業ト兩方ヤツテ居ルモノデアリマシテ、純然タル林業労働者ト云フモノハ極ク數ガ少ナウゴザイマス、隨ヒマシテ林業労働ノ問題ト致シマシテハ、寧ロ山村ノ經濟ヲ良クスルト云フコトガ、先決問題デアラウト云フ風ニ考ヘテ、吾々考ヲ進メテ參ッテ居リマス、雇労働ハ數ガ少クアリマスガ、是モ多クハ炭焼等デゴザイマスガ、自分デ以テ仕事ヲスルヤウナ方面ニ、金融或ハ原料ノ關係、販賣ノ關係等ヲ考慮シマシテ、自分ノ仕事トシテヤツテ行クヤウニ、獨立サセル方面ニ進メテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○山崎委員 甚ダ簡單デアリマシタガ、私ノ本案ニ對スル質疑ハ此程度デ止メテ置キ

マス

○平野委員 極メテ簡單デスガ、一般農作物ニ對スル保險制定ニ關シテ、大臣ノ御答辯ガアリマスノデ安心ヲ致シテ居リマスル

ガ、當局ニ於カレマシテハ、大體法ヲ制定サルル内準備ト申シマスルカ、諸般ノ調査ト云フモノガ大體完全ニナッテ居リマスルカ、或ハ又是カラ相當研究サレルヤウナ計畫ニナッテ居リマスルカ、伺ッテ見タイト思ヒマス

○村上政府委員 農業保險ニ付キマシテハ、既ニ多年研究ヲ致シテ居リマス、水稻ト桑ノ葉ニ付テハ、或ル程度ノ成案モ得テ居リマスガ、更ニソレヲ擴充致シタイト云フ趣旨デ、尙ホ研究ヲ續ケルト云フ風ナ狀況ニ相成ッテ居リマス

○平野委員 ソレデ今日マデ出テ居リマセヌ所ノ根本理由ト云フモノハ、調査ガ出來テ居ルニ拘ラズ出ナイト致シマスルト、政府ノ豫算ノ關係トカ或ハ其他何カ今日マデ出ナイコトニ付テノ主タル障礙ニナル原因ハドウ云フ所ニアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 此點ニ付キマシテハ、大臣カラ此委員會ノ當初ニ於テ御答ガアリマシタヤウデアリマス、從來當局モモウ少シ更ニ研究ヲ進メテ、其範圍ヲモウ少シ擴充

致シテヤル方ガ宜シイト云フ風ナ考デ、調査費等モ明年度ノ豫算ニ計上サレテ居リマスノデ、モウ少シ研究シタ方ガ宜シイト云フ考デ進ンデ參ッテ居リマス

○平野委員 御承知ノ通り一昨年及ビ昨年は於キマシテハ、冷害ノ爲ニ林檎デアルトカ、葡萄、梨等ノ災害ガ多カッタヤウデアリマスガ、斯ウ云フ果樹ニ付テモ、大體保險制度ヲ制定サレル腹案ガアリマスカ、果樹ノ方ニ付テハマダ研究ガアリマセヌカ

○村上政府委員 果樹ノ問題ニ付キマシテハ、從來ノ研究調査ノ出來上ツタモノノ中ニハ入ッテ居リマセヌ、併シ今後ノ問題トシテ研究ガ續ケラレテ參ラネバナルマイト思ッテ居リマス

○平野委員 昨年ハ葡萄ノ被害ト云フモノガ非常ニ多ウゴザイマシテ、之ニ對スル救濟運動ニ付テハ、屢々陳情其他ニ依ッテ御承知デアリマセウガ、特ニ葡萄ニ對スル被害ノ原因ハ——無論寒サノ爲デアリマスガ、寒サノ爲ニドウ云フ原因カラ斯ウ云フヤウニナツカト云フコトニ付テノ専門的調査ガ、其後ナサレマシタカ、或ハマダサレテ居リマセヌデセウカ伺ヒタイ

○村上政府委員 其點ニ付キマシテハ、丁度今其方ノ係ノ人ガ參ッテ居リマセヌノデ、

甚ダ申譯ゴザイマセヌガ、御答致シ兼ネマス

○平野委員 ソレデハ是ハ討論ノ時ニ申上ゲルコトデアリマスケレドモ、大體一般農作物ノ中、葡萄林檎等ノ一般果樹ニ付テモ、相當ノ御研究ヲ加ヘラレテ、當然其場合ニ於テ保險ノ中ニ御入レニナルコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○紫安委員長 御諮リ致シマス、質疑ハ終局致シタモノト認メテ御異議ゴザイマセヌカ

○小林委員 一寸私一二點森林火災國營保險法案ニ付テ御伺シタイト思ヒマス、先ツ第一ニ先日村上政府委員カラ御答ガアッタノデアリマスガ、第八條ノ規定ト商法ノ第三百九十九條ノ二トヲ比較對照シテ見マスルト、起リ得ル場合トシテ、本法第八條ノ詐欺ニ因ル保險契約無効ノ場合ト、其外ニ又一方契約解除ノ權利ト云フヤウナ立場カラ、此契約解除ヲ主張シ得ルコトガ、政府ノ方ニ大分起リ得ルヤウニ思ハレマスガ、サウ云フ場合ニ政府ノ方ノ重大ナ過失ナドデ、告知ノ内容ヲ間違ヘタヤウナ場合ニ、一々政府カラ解除ヲサレルト云フコトニナリマスト、洵ニ困ルコトニナルト思ヒマス

ガ、其點ハ政府ノ方ハ如何ニ御取扱ニナリマスカ、其一點ヲ御伺ヒ致シマス

○村上政府委員 此保險ハ出來得ル限リ林業者ノ保護ヲ致シタイ、又造林、再造林ヲ容易ナラシメタイト云フ根本精神カラ出テ居リマスノデ、此法案ノ運用ニ當リマシテハ、

總テノ場合ニ其精神ニ基イテ運用シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ御話ノヤウナ場合ニ付キマシテモ、商法ノ三百九十九條ノ二ニ依ッテ解除スルト云フ風ナ場合ハ、本法ニ特別ノ規定ノアル場合ハ別ト致シマシテ、三百九十九條ノ二ノ規定ヲ事實上働カシテ解約スルト云フヤウナコトハナイヤウナ方針デ、運用シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○小林委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ非常ニ満足ニ思ヒマス、モウ一遍御伺シタイノデスガ、本法ノ全部ニ互リマシテ、此法律ハ申ス迄モナク、公法デナク私法デアリマス、隨テ保險契約者ノ國家ノ人民ト云フモノハ、對等ノ地位ニ立ッテ契約ヲスル所ノ性質ヲ持ツタモノデアリマス、併ナガラ諸所散見スル所ニ依リマスト、例ヘバ此九條ノ第二項、或ハ第十五條ノ第二號、或ハ第十九條ノ第二項ト云フ風ニ、申告ヲ怠ッ

タ時ハ政府ハ損害ヲ補償スル責ニ任ゼザルコトヲ得、又ハ通知ヲ怠ッタ場合ニハ損害ヲ填補スル責ニ任ゼズ、或ハ通知ヲ怠リタル

トキハ政府ハ危険増加ノ時ヨリ保險契約ガ其效力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得ト云フヤウナ、一方ニ頗ル強イ權利ヲ與へ、一方ガ頗ル弱イ立場ニ立ッテ居ルヤウニ一應見ラレルノデアリマス、併ナガラ先日來ノ御答辯ニ依リマス、國家ハ出來得ルダケ損害ヲ受ケタ者ニ填補ヲシテヤラウ、斯ウ申シテハ或ハ當ラヌカモ知レマセヌガ、言換ヘレバ、國家ガ親心ヲ以テ出來ルダケ損害ヲ補償シテヤラウト云フヤウナ氣分デオヤリ下サイマスナラバ、運用上ニ左程ノ差支モ起ルマイト思ヒマスケレドモ、サウデナイ立場デ御觀察下サルト——村上政府委員ガ山林局長デ居ラレル間ハ、安心シテ居リマスケレドモ、出先ノ役人ガ詰ラナイ私情ナドニ驅ラレマシテ、此法律ノ條文ヲ其儘ニ取ッテ、直グニ怠ッタコトニシテ效力ヲ失ハセルト云フヤウナコトニナリマス、甚ダ本法ノ目的ヲ達セラレナイヤウナ事情ガ起ッテ來ルノデハナイカト考ヘマスノデ、其一點ニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

**○村上政府委員** 御尤ナ御尋デゴザイマシテ、言葉ハ悪イカモ知レマセヌガ、本法案ガ實行致サレマス場合ニハ何ト申シマスカ、親心デ以テ總テヤッテ參ルト云フ趣旨

ヲ、各此實行ノ衝ニ當ル者ニ對シテ十分示シテ、法案ノ趣旨ヲ誤ルコトノナイヤウニ、注意ヲ致シタイ積リデ居リマス

**○小林委員** 只今ノ御答辯ニ依ッテ洵ニ満足ヲ致シマシタ、ドウカサウ云フ御考デ、此法律ガ運用サレルヤウニ希望致シマシテ、私ノ質疑ヲ終リマス

**○紫安委員長** 御諮致シマス、質疑ハ終局致シタモノト認メルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

**○紫安委員長** 御異議ナシト認メマス、質疑ハ終局致シマシタ、是ニテ散會致シマス  
午後三時四分散會

昭和十二年三月十八日印刷

昭和十二年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社